産地パワーアップ事業の取組事例（28～30年度：計画作成主体：加賀市農業活性化協議会）（石川県）

取組の概要

対象品目　：ブロッコリー（産地面積56.3ha）
　　かぼちゃ（産地面積44.7ha）
主な取組主体：ＪＡ加賀
成果目標　：契約栽培の割合10%以上増
　　かつ50%以上
導入施設等　：整備事業
　　（集出荷施設の製氷機増強）
　　生産支援事業
　　（機械リース　野菜移植機(5台)）

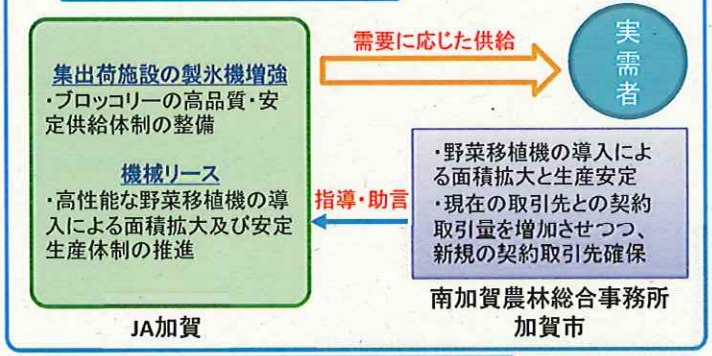
石川県
加賀市
加賀市地区

ポイント

【産地の課題及び取組方向】
　当該産地では露地野菜（ブロッコリー、かぼちゃ）の産地化に取り組んでいるが、集出荷施設の製氷能力不足解消と、生産体制の効率化が課題となっている。

【産地の体質強化に向けた方策】
①ブロッコリーの高品質・安定供給体制を整備するため、既存集出荷施設に製氷機を増設する
②ブロッコリー及びかぼちゃの産地面積拡大と安定生産体制の推進を図るため、高性能な野菜移植機を導入する
③ 契約栽培の割合増加のため、現在の取引先との契約取引量を増加させつつ、新規の契約取引先を確保する

産地体制



地域における独自の取組

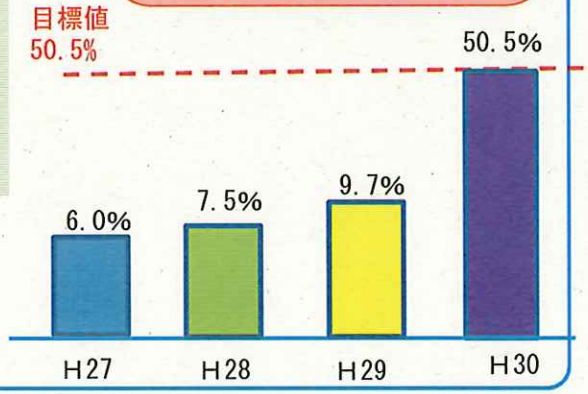
規格外品を利用した
加工品の製造・販売

冷凍ブロッコリー

かぼちゃ焼酎

取組成果

【事業実施による直接効果】
①製氷能力の不足を解消し、高品質・安定供給を実現
②高性能野菜移植機の導入による生産効率向上により産地面積が拡大
　ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ　H27 51.2ha→H30 56.3ha
　かぼちゃ　H27 40.6ha→H30 44.7a

【事業実施による間接効果】
・生産効率向上により生産者が増加
　H27 91戸→H30 98戸

ブロッコリーの契約栽培の割合
44.5%増加
（達成率100%）